令和２年度

決算報告書

第２期

自　令和２年４月　１日

至　令和３年３月３１日

公立大学法人大阪

令和2年度決算報告書

（単位：百万円）

区分	予算	決算	差額 （決算−予算）	備考
収入				
運営費交付金	26,926	27,366	440	（注1）
施設整備費補助金	4,858	4,504	△ 354	（注2）
自己収入	45,852	44,307	△ 1,545	
授業料及び入学金検定料収入	10,511	9,467	△ 1,044	（注3）
附属病院収入	33,746	33,215	△ 531	（注4）
雑収入	1,595	1,625	30	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,167	5,490	1,323	（注5）
補助金等収入	680	4,041	3,361	（注6）
長期借入金収入	1,680	1,556	△ 124	（注7）
目的積立金取崩	2,048	1,018	△ 1,030	（注8）
計	86,212	88,282	2,071	
支出				
業務費	73,792	68,619	△ 5,173	
教育研究経費	36,880	34,843	△ 2,037	（注9）
診療経費	36,912	33,776	△ 3,136	（注10）
施設・設備整備費	6,767	6,539	△ 228	（注2，8）
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,167	5,022	855	（注5）
補助金等	680	3,592	2,912	（注11）
長期借入金償還金	807	806	△ 1	
計	86,212	84,579	△ 1,633	

※ 本表の数値は単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

○予算と決算との差異について

（注1） 国の高等教育の修学支援新制度により、授業料等減免交付金が交付されたため、予算額に比して決算額が増加しております。

（注2） 各種工事の入札結果により、予算額に比して決算額が減少しております。

（注3） 国及び大阪府の高等教育の修学支援新制度により、運営費交付金及び補助金が交付され、授業料等免除に使用したため、予算額に比して決算額が減少しております。

（注4） 新型コロナウイルス感染症対応の病棟閉鎖等による患者数の減少により、予算額に比して決算額が減少しております。

（注5） 受託研究等の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が増加しております。

（注6） 府の高等教育無償化施策及び、新型コロナウイルス感染症患者受入体制整備に対して各種補助金の交付を受けたため、予算額に比して決算額が増加しております。

（注7） 新型コロナウイルス感染症対応のため、病院情報システムの更新を延期したことにより、予算額に比して決算額が減少しております。

（注8） 新型コロナウイルス感染症対応のため、病院内の工事等を中止したことにより、予算に比して決算額が減少しております。

（注9） 超過勤務時間の減、給与改定による人件費単価の減、人員定数充足の未達による人件費の減少及び、新型コロナウイルス感染症対策における出張の自粛に伴い、旅費等の予算を施設設備整備予算に変更したことより、予算額に比して決算額が減少しております。

（注10） 新型コロナウイルス感染症対応による手術件数の減少及び患者数の減少により、予算額に比して決算額が減少しております。

（注11） 新型コロナウイルス感染症患者受入体制整備に対して各種補助金の交付を受けたため、予算額に比して決算額が増加しております。
また、大阪府の高等教育の修学支援新制度により、補助金として交付された475百万円を授業料等免除に使用したため、補助金の収入差額に比べ支出差額が少なくなっております。